

**令和2年度第2回岐阜県農業農村整備委員会
議 事 要 旨**

1 日時 令和3年2月25日（木）13時半～15時

2 場所 岐阜県水産会館 中会議室

3 出席者 別紙のとおり

4 議題

- (1) 岐阜県農業農村整備委員会の運営方法について
- (2) 令和3年度ふるさと水と土指導員の活動助成について
- (3) 中山間ふるさと・水と土保全対策、推進事業の事業実施計画について
- (4) ぎふ水土里のプロジェクトについて
- (5) 岐阜県棚田地域振興計画の進捗状況について
- (6) ぎふ農業・農村基本計画アクションプログラム（農業農村整備部門）
について
- (7) 農山漁村地域整備交付金の整備計画について

5 議事要旨

- (1) 岐阜県農業農村整備委員会の運営方法について
 - 「新型インフルエンザ等対策特別措置法」による新型インフルエンザ等緊急事態宣言等により委員会の開催が困難な場合は、報告事項等については、各委員に書面の報告をすることができるについて、『「新型インフルエンザ等対策特別措置法」による新型インフルエンザ等』を削除した方が、災害等の近年の様々な状況に対応できるのではないか（松本委員）。
 - 記載方法についてそのように対応する（小宮次長）。
委員会として承認。
- (2) 令和3年度ふるさと水と土指導員の活動助成について
意見なし、委員会として承認。
- (3) 中山間ふるさと・水と土保全対策、推進事業の事業実施計画について
 - 農林水産省の事業が2つに分かれているため、2つの計画をたてるということか、県として保全と推進対策の違いを意識した方がよい（松本委員）。
 - 保全対策は、旧対策からある事業を継続していくものであり、推進事業は、新しい課題等でできた場合、例えば棚田地域振興法など新

しく伸ばしていくような事業を推進事業として分けている（小宮次長）。
委員会として承認。

(4) ぎふ水土里のプロジェクトについて

- テーマに「新たな世代につなぐ豊かな里づくり」とあるが、新たな世代とは何か（松本委員）。
 - 子どもや孫など子孫につないだり、外部から人を呼び込むことを想定している（川島技術主査）。
- テーマは、つなぐより「世代をこえる」の方がよいのではないか（松本委員）。
 - 「世代を超えた豊かな里づくり」としていきたい（川島技術主査）。
- 令和元年度に続きとあるが、同じテーマでなくてもよいのか（森委員）。
 - 委員の皆様のご了承をいただければ、テーマをかえることもできる（川島技術主査）。
- またR2年度から廃止した事業はあるか（松本委員）。
 - 棚田地域収益向上支援事業を廃止した。R2年度については想定していた大学があったが、新型コロナウイルスの影響により活動が中止となった。
- ぎふの田舎応援隊の活動経費はどこから出るのか（松本委員）。
 - 「ぎふの田舎へいこう！」推進協議会へ活動の受入れ地域と隊員をつなぐ事務を委託している（川島技術主査）。
- ぎふの田舎応援隊の今年の活動はできたのか（西脇委員）。
 - 前半は、活動できなかったが、秋以降は地域の要望もあり例年以上に実施できている（川島技術主査）。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で展示会を開催できないのはわかるが、別の方法を今後検討すべき（佐竹委員）。
 - そのように対応していく（川島技術主査）

(5) 岐阜県棚田地域振興計画の進捗状況について

- 応援隊の目標は、すでに達成しているが上方修正しないのか（松本委員）。
 - 来年修正する予定（川島技術主査）。
- 棚田の先進的な取組みとはどのようなものか（佐竹委員）。
 - 外からの人材を呼び込む取組みをしている恵那市の坂折棚田、飛騨市の種蔵棚田の2団体を先進的な取組みを行う団体としている。棚田の維持保全だけでなく、人を呼び込む活動をしているところを認めている（川島技術主査）。
- 取組み団体に対し補助金などの支援はあるのか（佐竹委員）。
 - 現在は、棚田の組織側に対しては保全活動事業、棚田で活動を行う大学側に対しては若い力で元気創出ふるさと支援事業の2つの事業を支援している。来年度は棚田のオーナー制度等を行っているところについて仮設トイレなど整備の支援を行う予定。
- スマート農業に取組むと先進的な取組みになるか（松本委員）。
 - 中山間地直接支払制度の加算措置がある（川島技術主査）。
- スマート農業に取組む団体も認めたらどうか（松本委員）。

➤ そのように対応していきたい（川島技術主査）。

(6) ぎふ農業・農村基本計画アクションプログラム（農業農村整備部門）について
意見なし

(7) 農山漁村地域整備交付金の整備計画について
意見なし

○ 本日の審議については、岐阜県農業農村整備委員会として了承（松本委員）。

令和2年度 第2回岐阜県農業農村整備委員会出席者名簿

□委員 10名

(50音順)

氏 名	主 な 職 名	備 考
蟹澤 保子	生活協同組合コープぎふ 理事	
國本 真志登	岐阜新聞社編集局 局長	
佐竹 輝美	株式会社デリカサイト 執行役員 情報本部長	
塩月 祥子	一般社団法人白川町移住交流センター 集落支援員	
都竹 盛夫	農事組合法人南ひだ羽根ファーム 代表理事	
西脇 洋恵	NPO法人ななしんぼ 理事長	
波能 寿子	各務用水土地改良区 事務局長	
林 達也	岐阜県稲作経営者会議 青年部会長 株式会社DIB 代表取締役	
松本 康夫	岐阜大学 名誉教授	
森 誠一	岐阜協立大学院 地域創生研究所 教授	

□関係者等 7名

氏 名	所 属 ・ 役 職	備 考
小宮 英稔	農政部次長	
(農村振興課)		
山田 和浩	農村振興課長	
森 一英	農村企画係 係長	
川島 久美子	農村企画係 技術主査	
片桐 未樹	農村企画係 技術主査	
(農地整備課)		
兼山 雅史	調査計画係 係長	
岩佐 純平	調査計画係 主任技師	